

平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	被災都市ガス導管移設復旧支援事業費補助金			担当部局	復興庁		作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年8月11日東日本大震災復興対策本部決定)			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都市ガス導管の再敷設により、被災地域のガスの安定供給を図り、当該嵩上げ地域における住民の生活復興や産業復興を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災で被害を受けた地方自治体の復興計画に基づき行われる道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設を行う被災都市ガス事業者に対して、ガス導管再敷設に要する費用の一部を支援し、被災地域のガスの安定供給を図る。(補助率:2/3,1/2)							
実施方法	補助							
予算額・執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	457	375	311	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	334		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 334	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計		0	0	123	709	311	
	執行額		-	-	0			
執行率(%)		-	-	0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 36年度
	被災地域の都市ガス供給の復旧(36年度までにガス供給復旧需要家数を約5,000件に達成する。)	補助対象事業者のガス供給復旧需要家数	成果実績	件	-	-	138	
			目標値	件	-	-	5,000	5,000
			達成度	%			2.8%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	支援対象事業者数	活動実績	者	-	-	2		
		当初見込み	者	-	-	3	4	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	予算額/事業者数		単位当たりコスト	百万円	-	-	167	93.8
		計算式	百万円/者	-	-	334百万円/2者	375百万円/4者	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	事業費	375	311	事業の進捗に伴う減				
	計	375	311					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	被災地域のガス導管の復旧を促進し、ガスの安定供給を図ることは国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は日本大震災からの復興の基本方針:5(1)①(ii)に位置づけられる事業であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は日本大震災からの復興の基本方針:5(1)①(ii)に位置づけられる事業であり、被災地域のガス導管の復旧を促進しガスの安定供給を図るものであることから優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	対象事業者は被災地の復興計画に基づいた道路の嵩上げに伴うガス導管の再敷設等を行う事業者に限定されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	他の制度と同等に補助率を2/3以内に設定し、受益者負担は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	本事業においては、事業目的に即し、真に必要なものに限定すべき、補助対象経費を、設計費、再敷設費(仮設工事を含む配管工事費、土木工事費、設備・材料購入費等)に限定している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業においては、事業目的に即し、真に必要なものに限定すべき、補助対象経費を、設計費、再敷設費(仮設工事を含む配管工事費、土木工事費、設備・材料購入費等)に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一体として行っている被災地の復興計画に基づく道路の嵩上げ工事が大幅に遅れているため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	成果を的確に把握し、効率的、効果的な予算執行に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	被災地の復興計画を着実に進めるためには、本事業により、ガス導管の再敷設を着実に実施することが必要である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	3事業者のうち2事業者が本事業に着手した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は日本大震災からの復興の基本方針:5(1)①(ii)に位置づけられる事業であり、被災地の復興計画を着実に進めるためには、本事業により、ガス導管の再敷設を着実に実施することが必要である。			
	改善の方向性	本事業は、一体として行っている被災地の復興計画に基づく道路の嵩上げ工事が大幅に遅れているため当初の計画通りの進捗にはなっていないが、計画の見直し等補助事業者と調整のうえ適切かつ効率的な執行に努める。			
外部有識者の所見					
執行率が低く、多額の繰越しが生じていることから、適切な進捗管理、効率的な執行に努めるとともに、地元ニーズ等も踏まえ、必要額を精査する等予算規模の適正化を図ること。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、適切な予算規模について精査しつつ、予算の効率的な執行に努めるべきである。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	道路嵩上げ工事など関連事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、予算を効率的に執行することとする。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新26-016		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

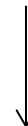
復興庁

(経済産業省へ予算の移
替え457百万円)



経済産業省

(道路の嵩上げ等に伴うガス導管
の再敷設事業の実施する被災
都市ガス事業者に対して補助金
交付等の手続きを東北経済産
457百万円)



【事務委任】

東北経済産業局

(補助金交付等の手
続き)



【公募・補助】

被災都市ガス事業者

(道路の嵩上げ等に伴うガス
導管の再敷設事業の実施)